

生き活き農業展開活動事業

依田窪福祉会（長野県） 〒386-0503 長野県小県郡武石村大字下武石776番地1 TEL 0268-85-2218

活動の概要

地域の高齢者の方々が遊休農地で作られた農作物を村役場の農政課を介して施設で購入しています。購入野菜は根菜類が中心で、施設職員が高齢者宅へ集荷に伺います。集荷には地元の精神障害者の方2名が担当してくれており、法人の臨時職員として雇用しています。

法人の概要

依田窪福祉会は、平成8年に法人認可され、平成9年4月1日より、特養ホームとショートステイの1法人1施設としてスタートしました。現在では、近隣町村社会福祉協議会が行っていたホームヘルプ事業、デイサービス事業などが移管され、11の事業を実施するに至っています。立地は長野県東部、美ヶ原高原東側の過疎村ですが、新幹線上田駅から車で30分程の位置にあり、交通の便は比較的良いほうです。

- 経営施設数…4
 - 法人全体の年間事業収入…600,000千円
 - 主な経営施設
- 特養ホームともしび 平成9年設立 定員50名
デイサービスセンター長門
平成13年設立（移管）
- デイサービスセンター和田
平成13年設立（移管）
- デイサービスセンター大門
平成16年度設立予定

活動の内容

- 活動対象者…地域の高齢者、精神障害者
- 活動の期間…5～11月
- 年間延利用者数…100名
- 活動開始年…平成12年

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

- ・遊休農地が年々増加し、農地の荒廃が進んでいること。
- ・地元の精神障害者の働く場がないこと。
- ・地元の虚弱老人の生きがい支援、及びリハビリ。
- ・地元の野菜類の地産地消。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

- ・資金（燃料代）等は施設の持ち出し。
- ・精神障害者雇用の場として、行政の保健事業と連携を図った。

■利用者の声、地域の反応

- ・少々のお金になるので有難いこと。
- ・雇用の場が確保され、有難いこと。

活動の成果、地域の影響、今後の課題

(活動の成果)

精神障害者の方々に仕事が発生したことにより、少しでも自立生活の支援につながったこと。また集荷業務に当たることで、地域の高齢者の方々から「ありがとう」の言葉かけがあることにより、精神障害者の方々にとって気持ちの安定につながったこと。

(地域への影響)

精神障害者の方々が地域の中で活躍する姿が自然と受け容れられていった。また、農業の現役を退いた後も有り余る野菜を作り続け、家族から疎まれたお年寄りが、いくらか現金収入につながることから、役割として昔の作業を続けていけるようになった。

(今後の課題)

集荷した野菜類は調理業務委託業者に買い取っていただいているものの、毎年集荷量が増えることで、野菜が捌ききれなくなっている。